

2012年7月31日
TDK株式会社
問合せ先：広報部
TEL 03(5201)7102

2013年3月期 第1四半期連結決算情報 [米国会計基準]

(単位:百万円, %)

科 目	期 前第1四半期 (2011.4.1～2011.6.30)		当第1四半期 (2012.4.1～2012.6.30)		増 減	
	金 額	売上高比	金 額	売上高比	金 額	増減率
売 上 高	206,198	100.0	208,653	100.0	2,455	1.2
営 業 利 益	5,997	2.9	9,223	4.4	3,226	53.8
継続事業税引前四半期純利益	3,695	1.8	8,845	4.2	5,150	139.4
当社株主に帰属する四半期純利益	2,423	1.2	4,471	2.1	2,048	84.5
1株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益金額:						
－基本	18円 78銭		35円 52銭			
－希薄化後	18円 77銭		34円 71銭			
固 定 資 産 の 取 得	26,786	－	23,932	－	△ 2,854	△ 10.7
減 価 償 却 費	18,606	9.0	17,887	8.6	△ 719	△ 3.9
研 究 開 発 費	13,484	6.5	12,986	6.2	△ 498	△ 3.7
金 融 収 支	△ 407	－	△ 8	－	399	－
海 外 生 産 比 率	82.5%	－	79.6%	－		
従 業 員 数	88,637人	－	79,160人	－		

(注) 2012年3月期に非継続となったディスプレイ事業に係る数値を組替え再表示しております。



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 TDK株式会社

コード番号 6762 URL <http://www.tdk.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上釜 健宏

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長

(氏名) 渥美 辰彦

TEL 03-5201-7102

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		継続事業税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	208,653	1.2	9,223	53.8	8,845	139.4	4,471	84.5
24年3月期第1四半期	206,198	△6.6	5,997	△70.4	3,695	△80.5	2,423	△83.3

(注) 当社株主に帰属する四半期包括利益 25年3月期第1四半期 △22,479百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △2,282百万円 (—%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	35.52	34.71
24年3月期第1四半期	18.78	18.77

(注) 平成24年3月期に非継続となったディスプレイ事業に係る数値を組替え再表示しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	1,046,528	484,727	470,696	45.0	3,739.05
24年3月期	1,072,829	512,046	498,159	46.4	3,957.20

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	40.00	—	50.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、第1四半期及び第3四半期の配当を実施していません。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	900,000	10.5	57,000	205.0	53,000	332.8	40,000	—	317.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	129,590,659 株	24年3月期	129,590,659 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	3,704,258 株	24年3月期	3,703,832 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	125,886,546 株	24年3月期1Q	128,997,019 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

平成24年7月31日(火)18時より、四半期決算説明会の模様をライブ動画配信いたします。英語による同時通訳も併せてライブ動画配信しますので、ご利用ください。決算説明会プレゼンテーション資料は、平成24年7月31日(火)17時45分頃にIRウェブサイト決算説明会ページに掲載する予定です。

[目次]

1.	当四半期決算における定性的情報	
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	・ ・ ・ ・ ・ P. 2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	・ ・ ・ ・ ・ P. 5
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	・ ・ ・ ・ ・ P. 6
2.	その他の情報	
(1)	重要な子会社の異動の概要	・ ・ ・ ・ ・ P. 7
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	・ ・ ・ ・ ・ P. 7
(3)	会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示	・ ・ ・ ・ ・ P. 7
(4)	利益配分に関する基本方針及び当期の配当	・ ・ ・ ・ ・ P. 7
3.	連結財務諸表等	
(1)	四半期連結貸借対照表	・ ・ ・ ・ ・ P. 8
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	・ ・ ・ ・ ・ P. 9
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	・ ・ ・ ・ ・ P. 10
(4)	継続企業の前提に関する注記	・ ・ ・ ・ ・ P. 11
(5)	セグメント情報	・ ・ ・ ・ ・ P. 11
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	・ ・ ・ ・ ・ P. 12
(7)	連結補足資料	・ ・ ・ ・ ・ P. 12

【定性的情報・財務諸表等】

1. 当四半期決算における定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

2013 年 3 月期第 1 四半期(2012 年 4 月 1 日から 6 月 30 日までの 3 ヶ月間)の業績は次のとおりです。

当第 1 四半期における世界経済を概観しますと、先進諸国においては欧州地域における政府債務問題に起因する金融資本市場の混乱やそれに伴う経済活動の減速が続く、新興国においても欧州地域向けの輸出減少や個人消費及び企業投資の冷え込み等により経済成長の減速が見られ、今後の世界経済の見通しに対する不透明感は払拭されておられません。そういった世界経済の中、当社の連結業績に影響を与えるエレクトロニクス市場を概観しますと、その生産水準はセット製品(最終財)により異なっております。需要が拡大しているスマートフォンを中心とした携帯電話及びタブレット端末の生産は前年同期の生産水準を上回り、引き続き堅調に推移しました。また、ハイブリッド自動車や電気自動車の生産も引き続き堅調に推移し、前年同期に比べ増加しました。一方、薄型テレビ、パーソナルコンピューター及びハードディスクドライブ(HDD)の生産は前年同期とほぼ同水準で推移しました。

このような経営環境の中、当社グループの連結業績は、売上高 2,086 億 53 百万円(前年同期 2,061 億 98 百万円、前年同期比 1.2%増)、営業利益 92 億 23 百万円(前年同期 59 億 97 百万円、前年同期比 53.8%増)、継続事業税引前四半期純利益 88 億 45 百万円(前年同期 36 億 95 百万円、前年同期比 139.4%増)、当社株主に帰属する四半期純利益 44 億 71 百万円(前年同期 24 億 23 百万円、前年同期比 84.5%増)、1 株当たり当社株主に帰属する四半期純利益金額 35 円 52 銭(前年同期 18 円 78 銭)となりました。当第 1 四半期における対米ドル及びユーロの期中平均為替レートは、80 円 27 銭及び 103 円 18 銭と前年同期に比べ対米ドルで 1.8%の円高、対ユーロで 12.3%の円高となりました。この為替変動による影響額は、売上高で約 52 億円、営業利益で約 8 億円のそれぞれ減少となりました。

(単位：百万円，%)

科目 \ 期	前第 1 四半期 (2011. 4. 1～ 2011. 6. 30)		当第 1 四半期 (2012. 4. 1～ 2012. 6. 30)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
売上高	206,198	100.0	208,653	100.0	2,455	1.2
営業利益	5,997	2.9	9,223	4.4	3,226	53.8
継続事業税引前四半期純利益	3,695	1.8	8,845	4.2	5,150	139.4
当社株主に帰属する四半期純利益	2,423	1.2	4,471	2.1	2,048	84.5
1 株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益金額：						
－基本	18 円 78 銭		35 円 52 銭			
－希薄化後	18 円 77 銭		34 円 71 銭			

＜製品別売上高の概況＞

(単位:百万円, %)

期 製品区分	前第1四半期 (2011.4.1～2011.6.30)		当第1四半期 (2012.4.1～2012.6.30)		増減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
コ ン デ ン サ	36,080	17.5	31,434	15.1	△ 4,646	△ 12.9
インダクティブデバイス	32,879	15.9	28,206	13.5	△ 4,673	△ 14.2
そ の 他 受 動 部 品	32,751	15.9	31,840	15.2	△ 911	△ 2.8
受 動 部 品 計	101,710	49.3	91,480	43.8	△ 10,230	△ 10.1
記 録 デ バ イ ス	55,235	26.8	59,926	28.7	4,691	8.5
そ の 他 磁 気 応 用 製 品	24,364	11.8	28,254	13.6	3,890	16.0
磁 気 応 用 製 品 計	79,599	38.6	88,180	42.3	8,581	10.8
フィルム応用製品	18,024	8.8	23,232	11.1	5,208	28.9
そ の 他	6,865	3.3	5,761	2.8	△ 1,104	△ 16.1
連 結 合 計	206,198	100.0	208,653	100.0	2,455	1.2
海 外 売 上 高 (内 数)	181,735	88.1	179,081	85.8	△ 2,654	△ 1.5

(注) 非継続となったディスプレイ事業に係る数値を除外するとともに、前第1四半期の売上高について、現行のセグメントに基づき組替え再表示しております。

(1) 受動部品セグメント

当セグメントは、①コンデンサ事業 ②インダクティブデバイス事業 ③その他受動部品 で構成され、売上高は、914 億 80 百万円（前年同期 1,017 億 10 百万円、前年同期比 10.1%減）となりました。

コンデンサ事業は、セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ及びフィルムコンデンサから構成され、売上高は、314 億 34 百万円（前年同期 360 億 80 百万円、前年同期比 12.9%減）となりました。セラミックコンデンサの販売は、自動車市場向けで増加したものの、アルミ電解コンデンサ及びフィルムコンデンサの販売は、産業機器市場向けで減少しました。

インダクティブデバイス事業の売上高は、282 億 6 百万円（前年同期 328 億 79 百万円、前年同期比 14.2%減）となりました。自動車市場向けの販売が増加したものの、情報家電市場及び産業機器市場向けの販売が減少しました。

その他受動部品は、高周波部品、圧電材料部品・回路保護部品及びセンサで構成されており、売上高は、318 億 40 百万円（前年同期 327 億 51 百万円、前年同期比 2.8%減）となりました。高周波部品の販売が主に通信機器市場向けで減少しました。圧電材料部品・回路保護部品及びセンサの販売は、通信機器市場及び情報家電市場向けでそれぞれ増加したものの、産業機器市場向けで減少しました。

(2) 磁気応用製品セグメント

当セグメントは、①記録デバイス事業 ②その他磁気応用製品 で構成され、売上高は、881 億 80 百万円（前年同期 795 億 99 百万円、前年同期比 10.8%増）となりました。

記録デバイス事業は、主にHDD用ヘッドとHDD用サスペンションから構成され、売上高は、599 億 26 百万円（前年同期 552 億 35 百万円、前年同期比 8.5%増）となりました。HDD用ヘッドの販売は、米ドルに対する円高の影響を受けたものの、販売数量が増加したことにより増収となりました。

その他磁気応用製品は、電源及びマグネットで構成されており、売上高は、282 億 54 百万円（前年同期 243 億 64 百万円、前年同期比 16.0%増）となりました。電源の販売は、自動車市場向けで増加したものの、産業機器市場向けで減少しました。一方、マグネットの販売は、自動車市場向けで大幅に増加しました。

(3) フィルム応用製品セグメント

当セグメントは、エナジーデバイス（二次電池）及びアプライドフィルムで構成され、売上高は、232 億 32 百万円（前年同期 180 億 24 百万円、前期比 28.9%増）となりました。

エナジーデバイスの販売は、スマートフォンを中心とした通信機器市場及び情報家電市場向けの販売が大幅に増加しました。アプライドフィルムの販売は、情報家電市場向けで減少しました。

(4) その他

その他は、メカトロニクス（製造設備）等で構成され、売上高は、57 億 61 百万円（前年同期 68 億 65 百万円、前年同期比 16.1%減）となりました。

なお、上記 3 つの報告セグメント及びそれらに属さない「その他」の区分を構成する主な事業は下記のとおりです。

区分	構成する主な事業
受動部品	セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクティブデバイス(コイル、フェライトコア、トランス)、高周波部品、圧電材料部品・回路保護部品、センサ
磁気応用製品	記録デバイス、電源、マグネット
フィルム応用製品	エナジーデバイス(二次電池)、アプライドフィルム（旧記録メディア）
その他	メカトロニクス(製造設備) 等

<海外売上高の概況>

海外売上高の合計は、前年同期の 1,817 億 35 百万円から 1.5%減の 1,790 億 81 百万円となり、連結売上高に対する海外売上高の比率は、前年同期の 88.1%から 2.3 ポイント減少し 85.8%となりました。詳細については 12 ページの連結補足資料をご参照ください。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1) 当第1四半期末の資産、負債及び株主資本の状況

・総資産	1兆 465億 28百万円	(前期末比	2.5%減	)
・株主資本	4,706億 96百万円	(同	5.5%減	)
・株主資本比率	45.0%	(同	1.4ポイント減	)

当第1四半期末の資産は、前期末と比較して263億1百万円減少しました。有形固定資産が77億70百万円及びその他の資産が68億54百万円それぞれ減少しましたが、その主な要因です。

負債は、前期末と比較して10億18百万円増加しました。短期借入債務が108億17百万円増加した一方で、未払費用等が72億58百万円減少しております。

純資産のうち株主資本は、前期末と比較して274億63百万円減少しました。円高基調による外貨換算調整額の悪化を主因として、その他の包括利益(△損失)累計額が269億50百万円減少しました。

2) 当第1四半期のキャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,042	21,452	7,410
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,335	△ 20,346	△ 27,681
財務活動によるキャッシュ・フロー	981	4,425	3,444
為替変動の影響額	△ 2,801	△ 6,815	△4,014
現金及び現金同等物の増加(△減少)	19,557	△ 1,284	△20,841
現金及び現金同等物の期首残高	129,091	167,015	37,924
現金及び現金同等物の四半期末残高	148,648	165,731	17,083

* 営業活動によって得たキャッシュ・フローは、前年同期比74億10百万円増加し214億52百万円となりました。非支配持分控除前四半期純利益は26億66百万円増の50億82百万円、減価償却費は7億84百万円減の178億87百万円となりました。資産負債の増減において、売上債権が42億96百万円増加している一方、たな卸資産が80億9百万円、仕入債務が64億76百万円それぞれ減少しております。

* 投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期の収入から当第1四半期は支出に転じ、その変動額は276億81百万円となりました。前年同期は固定資産の取得267億86百万円、有価証券の取得31億26百万円等に対し、短期投資の売却及び償還397億73百万円等で73億35百万円の収入でしたが、当第1四半期は固定資産の売却等30億20百万円等に対し、固定資産の取得239億32百万円等で203億46百万円の支出となっております。

* 財務活動によって得たキャッシュ・フローは、前年同期比34億44百万円増加し44億25百万円となりました。短期借入債務の増減(純額)の増加31億88百万円が主たる増加要因となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

<2013 年 3 月期の連結見通し>

2013 年 3 月期の連結業績見通し、固定資産の取得・減価償却費・研究開発費の見通しは次のとおりです。

(単位:億円, %)

期 科目	2013年3月期 予想	2013年3月期 予想	2012年3月期 実績	2012年3月期対比 増減	
	2012年7月 発表	2012年4月 発表			
	金 額	金 額	金 額	金 額	増減率(%)
売 上 高	9,000	9,000	8,145	855	10.5
営 業 利 益	570	570	187	383	204.8
税 引 前 当 期 純 利 益	530	530	122	408	334.4
当社株主に帰属する当期純利益	400	400	△ 25	425	-
固 定 資 産 の 取 得	850	850	997	△ 147	-14.7
減 価 償 却 費	820	820	799	21	2.6
研 究 開 発 費	530	530	526	4	0.8

【注記】

TDK グループ(以下に定義します。)が現在入手しているエレクトロニクス市場、主要セット製品の見込み等に関する情報に基づき、それらに搭載される電子部品の需要を見直した結果、2012 年 4 月 27 日時点の予想と比較して、大きな変化は無いとの予測に基づく業績見通しであります。

(為替の見通し)

＊ 第2四半期以降の平均為替レートは対米ドル 77 円、対ユーロ 95 円を想定しております。

【 将来に関する記述についての注意事項 】

この資料には、当社または当社グループ(以下、TDKグループといいます。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項無し

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項無し

(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示

該当事項無し

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、長期的な企業価値の拡大を実現することが株主価値の拡大に繋がるとの認識の下、1株当たり利益の成長を通じて、配当の安定的な増加に努めることを基本方針としております。そのため、エレクトロニクス市場における急速な技術革新に的確に対応すべく、重点分野の新製品や新技術を中心に成長へ向けた積極的な投資を行うことで長期的な企業価値の拡大を目指してまいります。したがって、当社は実現した利益を事業活動へ積極的に再投資した上で、連結ベースの株主資本利益率（ROE）や株主資本配当率（D/E）の水準、事業環境の変化等を総合的に勘案して配当を行うことといたします。

当期の1株当たり配当見通しにつきましては次のとおりです。なお、当四半期における配当見通しの修正は有りません。

(単位：円)

	2013 年 3 月期 見通し	2012 年 3 月期 実績
中間配当	40.00	40.00
期末配当	50.00	40.00
年間配当	90.00	80.00

3. 連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円, %)

資 産 の 部						
科 目	期	前 期 末 (2012.3.31現在)		当 第 1 四 半 期 末 (2012.6.30現在)		増 減
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
流 動 資 産		545,821	50.9	536,431	51.3	△ 9,390
現 金 及 び 現 金 同 等 物		167,015		165,731		△ 1,284
短 期 投 資		6,368		5,103		△ 1,265
有 価 証 券		827		-		△ 827
売 上 債 権		177,861		173,986		△ 3,875
た な 卸 資 産		137,231		140,216		2,985
そ の 他 の 流 動 資 産		56,519		51,395		△ 5,124
固 定 資 産		527,008	49.1	510,097	48.7	△ 16,911
投 資 資 産		35,451		33,164		△ 2,287
有 形 固 定 資 産		332,325		324,555		△ 7,770
そ の 他 の 資 産		159,232		152,378		△ 6,854
資 産 合 計		1,072,829	100.0	1,046,528	100.0	△ 26,301

(単位:百万円, %)

負債及び純資産の部					
期 科 目	前 期 末 (2012.3.31現在)		当 第 1 四 半 期 末 (2012.6.30現在)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
流 動 負 債	325,903	30.4	333,937	31.9	8,034
短 期 借 入 債 務	131,168		141,985		10,817
一年以内返済予定の長期借入債務	11,729		11,348		△ 381
仕 入 債 務	87,666		90,099		2,433
未 払 費 用 等	73,271		66,013		△ 7,258
未 払 税 金	5,133		4,311		△ 822
そ の 他 の 流 動 負 債	16,936		20,181		3,245
固 定 負 債	234,880	21.9	227,864	21.8	△ 7,016
長 期 借 入 債 務	129,943		127,375		△ 2,568
未 払 退 職 年 金 費 用	88,254		84,725		△ 3,529
そ の 他 の 固 定 負 債	16,683		15,764		△ 919
(負 債 合 計)	560,783	52.3	561,801	53.7	1,018
資 本 金	32,641		32,641		-
資 本 剰 余 金	63,927		63,980		53
利 益 準 備 金	23,803		23,981		178
そ の 他 の 利 益 剰 余 金	627,861		627,119		△ 742
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 230,849		△ 257,799		△ 26,950
自 己 株 式	△ 19,224		△ 19,226		△ 2
(株 主 資 本 計)	498,159	46.4	470,696	45.0	△ 27,463
非 支 配 持 分	13,887	1.3	14,031	1.3	144
(純 資 産 合 計)	512,046	47.7	484,727	46.3	△ 27,319
負債及び純資産合計	1,072,829	100.0	1,046,528	100.0	△ 26,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(単位:百万円, %)

期 科 目	前第1四半期 (2011.4.1～2011.6.30)		当第1四半期 (2012.4.1～2012.6.30)		増 減	
	金 額	売上高比	金 額	売上高比	金 額	増減率
売 上 高	206,198	100.0	208,653	100.0	2,455	1.2
売 上 原 価	156,765	76.0	162,371	77.8	5,606	3.6
売 上 総 利 益	49,433	24.0	46,282	22.2	△ 3,151	△ 6.4
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	43,436	21.1	37,059	17.8	△ 6,377	△ 14.7
営 業 利 益	5,997	2.9	9,223	4.4	3,226	53.8
営 業 外 損 益 :						
受 取 利 息 及 び 受 取 配 当 金	358		709		351	
支 払 利 息	△ 765		△ 717		48	
為 替 差 益 (△ 損 失)	△ 601		162		763	
そ の 他	△ 1,294		△ 532		762	
計	△ 2,302	△ 1.1	△ 378	△ 0.2	1,924	-
継 続 事 業 税 引 前 四 半 期 純 利 益	3,695	1.8	8,845	4.2	5,150	139.4
法 人 税 等	911	0.4	3,763	1.8	2,852	313.1
継続事業非支配持分控除前四半期純利益	2,784	1.4	5,082	2.4	2,298	82.5
非継続事業非支配持分控除前四半期純損失	△ 368	△ 0.2	-	-	368	-
非 支 配 持 分 控 除 前 四 半 期 純 利 益	2,416	1.2	5,082	2.4	2,666	110.3
非 支 配 持 分 帰 属 利 益 (△ 損 失)	△ 7	△ 0.0	611	0.3	618	-
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	2,423	1.2	4,471	2.1	2,048	84.5

(注) 2012年3月期に非継続となったディスプレイ事業に係る数値を組替え再表示しております。

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

期 科 目	前第1四半期 (2011.4.1～2011.6.30)		当第1四半期 (2012.4.1～2012.6.30)		増 減
	金 額		金 額		金 額
非 支 配 持 分 控 除 前 四 半 期 純 利 益	2,416		5,082		2,666
その他の包括利益(△損失)－税効果調整後					
外 貨 換 算 調 整 額	△ 6,906		△ 26,444		△ 19,538
年 金 債 務 調 整 額	3,094		360		△ 2,734
有 価 証 券 未 実 現 利 益 (△ 損 失)	△ 915		△ 1,289		△ 374
そ の 他 の 包 括 利 益 (△ 損 失) 合 計	△ 4,727		△ 27,373		△ 22,646
四 半 期 包 括 利 益 (△ 損 失)	△ 2,311		△ 22,291		△ 19,980
非支配持分帰属四半期包括利益(△損失)	△ 29		188		217
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 包 括 利 益 (△ 損 失)	△ 2,282		△ 22,479		△ 20,197

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期	前第1四半期 (2011.4.1～2011.6.30)	当第1四半期 (2012.4.1～2012.6.30)
		金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
非支配持分控除前四半期純利益		2,416	5,082
営業活動による純現金収入との調整			
減価償却費		18,671	17,887
資産負債の増減			
売上債権の減少(△増加)		393	△ 3,903
たな卸資産の減少(△増加)		△ 16,008	△ 7,999
仕入債務の増加(△減少)		13,713	7,237
未払費用等の増加(△減少)		△ 3,682	△ 1,724
その他の資産負債の増減(純額)		△ 3,584	3,062
その他の		2,123	1,810
営業活動による純現金収入		14,042	21,452
投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定資産の取得		△ 26,786	△ 23,932
短期投資の売却及び償還		39,773	2,031
短期投資の取得		△ 2,495	△ 1,100
有価証券の取得		△ 3,126	△ 201
固定資産の売却等		977	3,020
その他の		△ 1,008	△ 164
投資活動による純現金収入(△支出)		7,335	△ 20,346
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入債務の返済額		△ 2,679	△ 2,591
短期借入債務の増減(純額)		8,619	11,807
配当金支払		△ 4,972	△ 4,838
その他の		13	47
財務活動による純現金収入		981	4,425
為替変動による現金及び現金同等物への影響額		△ 2,801	△ 6,815
現金及び現金同等物の増加(△減少)		19,557	△ 1,284
現金及び現金同等物の期首残高		129,091	167,015
現金及び現金同等物の四半期末残高		148,648	165,731

(注) 非継続事業のキャッシュ・フローは区分表示せず、継続事業のキャッシュ・フローと合算して表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項無し

(5) セグメント情報

当社の事業のセグメントは、前期より「受動部品」、「磁気応用製品」及び「フィルム応用製品」の3つの報告セグメントとそれらに属さない「その他」に分類しております。

従前「磁気応用製品」に属しておりました記録メディアは、一部製品の終息及びセパレータ事業の買収によりその主要製品が機能性フィルム製品へとシフトしていることから、アプライドフィルムと名称を変更し、コア技術や市場等において類似性があるエナジーデバイスと合わせて、報告セグメント「フィルム応用製品」として表示しております。これまでエナジーデバイスは「その他」に属しておりました。

なお、米国財務会計基準審議会会計基準編纂書 205-20「財務諸表の表示－非継続事業」の規定に基づき、2012年3月期に非継続となったディスプレイ事業に係る数値を除外しております。

上記に伴い、前第1四半期の数値についても現行のセグメントに基づき表示しております。

詳細につきましては、13 ページをご参照ください。

事業セグメント売上高

(単位:百万円, %)

		前第1四半期 (2011.4.1～2011.6.30)		当第1四半期 (2012.4.1～2012.6.30)		増 減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
受 動 部 品	外部顧客に対する売上高	101,710	49.3	91,480	43.8	△ 10,230	△ 10.1
	セグメント間取引	826		738		△ 88	△ 10.7
	計	102,536		92,218		△ 10,318	△ 10.1
磁気応用製品	外部顧客に対する売上高	79,599	38.6	88,180	42.3	8,581	10.8
	セグメント間取引	82		161		79	96.3
	計	79,681		88,341		8,660	10.9
フィルム応用製品	外部顧客に対する売上高	18,024	8.8	23,232	11.1	5,208	28.9
	セグメント間取引	1,037		820		△ 217	△ 20.9
	計	19,061		24,052		4,991	26.2
そ の 他	外部顧客に対する売上高	6,865	3.3	5,761	2.8	△ 1,104	△ 16.1
	セグメント間取引	5,848		4,975		△ 873	△ 14.9
	計	12,713		10,736		△ 1,977	△ 15.6
セグメント間取引消去		△ 7,793		△ 6,694		1,099	
連結合計		206,198	100.0	208,653	100.0	2,455	1.2

事業セグメント利益(△損失)

(単位:百万円, %)

		前第1四半期 (2011.4.1～2011.6.30)		当第1四半期 (2012.4.1～2012.6.30)		増 減	
		金 額	売上高比	金 額	売上高比	金 額	増減率
受 動 部 品		3,775	3.7	△ 2,867	△ 3.1	△ 6,642	-
磁 気 応 用 製 品		8,576	10.8	14,570	16.5	5,994	69.9
フ ィ ル ム 応 用 製 品		1,226	6.8	2,110	9.1	884	72.1
そ の 他		△ 394	△ 5.7	△ 427	△ 7.4	△ 33	-
小 計		13,183	6.4	13,386	6.4	203	1.5
全 社 及 び 消 去		△ 7,186		△ 4,163		3,023	
営 業 利 益		5,997	2.9	9,223	4.4	3,226	53.8

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項無し

(7) 連結補足資料

1. 為替レート

期 項目	前第1四半期 (2011.6.30現在)		当第1四半期 (2012.6.30現在)	
	US\$=¥	EURO=¥	US\$=¥	EURO=¥
期 末 日	80.73	116.84	79.31	98.74

2. 海外売上高

(単位:百万円, %)

期 地 域	前第1四半期 (2011.4.1～2011.6.30)		当第1四半期 (2012.4.1～2012.6.30)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
米 州	21,405	10.4	22,887	11.0	1,482	6.9
欧 州	34,849	16.9	27,773	13.3	△ 7,076	△ 20.3
アジア他	125,481	60.8	128,421	61.5	2,940	2.3
海外売上高合計	181,735	88.1	179,081	85.8	△ 2,654	△ 1.5
日 本	24,463	11.9	29,572	14.2	5,109	20.9
連 結 売 上 高	206,198	100.0	208,653	100.0	2,455	1.2

- (注) 1. 海外売上高は、売上先の地域別に基づくものであります。
 2. 2012年3月期に非継続となったディスプレイ事業に係る数値を除外しております。

3. 企業集団の状況

2012年6月30日現在の連結子会社は、国内13社、海外107社の計120社、持分法適用関連会社は、国内5社、海外3社の計8社です。

4. 製品別売上高の四半期推移

(単位:百万円, %)

期 製品区分	前第1四半期 (2011.4.1～2011.6.30)		前第2四半期 (2011.7.1～2011.9.30)		前第3四半期 (2011.10.1～2011.12.31)		前第4四半期 (2012.1.1～2012.3.31)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
コンデンサ	36,080	17.5	34,150	16.3	30,553	16.0	31,581	15.3
インダクティブデバイス	32,879	15.9	31,354	14.9	28,582	14.9	28,386	13.7
その他受動部品	32,751	15.9	34,387	16.4	30,353	15.9	30,520	14.7
受動部品	101,710	49.3	99,891	47.6	89,488	46.8	90,487	43.7
記録デバイス	55,235	26.8	53,305	25.4	42,024	22.0	58,164	28.1
その他磁気応用製品	24,364	11.8	27,681	13.2	25,978	13.5	29,651	14.3
磁気応用製品	79,599	38.6	80,986	38.6	68,002	35.5	87,815	42.4
フィルム応用製品	18,024	8.8	22,401	10.7	28,150	14.7	24,152	11.7
そ の 他	6,865	3.3	6,634	3.1	5,702	3.0	4,591	2.2
連 結 合 計	206,198	100.0	209,912	100.0	191,342	100.0	207,045	100.0

期 製品区分	当第1四半期 (2012.4.1～2012.6.30)	
	金 額	構成比
コンデンサ	31,434	15.1
インダクティブデバイス	28,206	13.5
その他受動部品	31,840	15.2
受動部品	91,480	43.8
記録デバイス	59,926	28.7
その他磁気応用製品	28,254	13.6
磁気応用製品	88,180	42.3
フィルム応用製品	23,232	11.1
そ の 他	5,761	2.8
連 結 合 計	208,653	100.0

(注) 非継続となったディスプレイ事業に係る数値を除外するとともに、前期の売上高について、現行のセグメントに基づき組替え再表示しております。

<現行>製品区分

区分	構成する主な事業
受動部品	セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクティブデバイス(コイル、フェライトコア、トランス)、高周波部品、圧電材料部品・回路保護部品、センサ
磁気応用製品	記録デバイス、電源、マグネット
フィルム応用製品	エナジーデバイス(二次電池)、アプライドフィルム(旧記録メディア)
その他	メカトロニクス(製造設備)等

<従前>製品区分

区分	構成する主な事業
受動部品	セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクティブデバイス(コイル、フェライトコア、トランス)、高周波部品、圧電材料部品・回路保護部品、センサ
磁気応用製品	記録デバイス、電源、マグネット、記録メディア
その他	エナジーデバイス(二次電池)、メカトロニクス(製造設備)等